



仙台市水道局キャラクター

ウォーターくん

平成 30 年度事業報告

仙台市水道局

1. はじめに

- 仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその後半 5 年間の実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 27 年度～平成 31 年度）」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、各年度の事業に取り組んでいます。

このたび、平成 30 年度における事業報告がまとまりましたので、お知らせいたします。

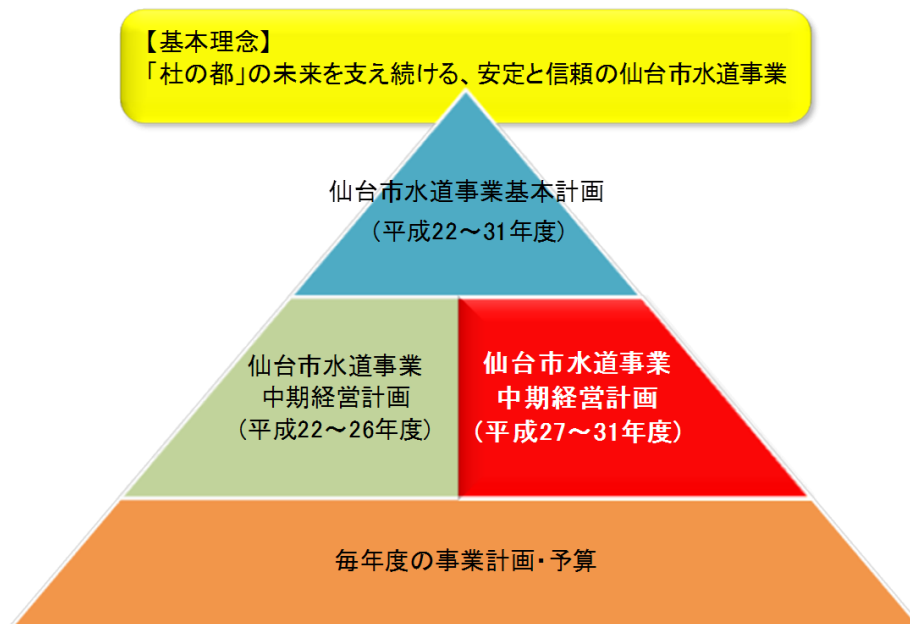


図 1 仙台市水道事業の計画体系

2. 決算の概況

- 本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」（平成 27～31 年度）に基づき、計画に掲げる事業を着実に推進し、強くて安心な水道，エコで持続可能な水道づくりに取り組みながら，お客さまへの安全・安心で良質な水道水の安定供給に努めてまいりました。
- 事業実績につきましては，年間総配水量が 1 億 2,029 万 9 千立方メートル，前年度比 16 万 1 千立方メートル（0.1%）増，年間有収水量が 1 億 1,350 万立方メートル，前年度比 3 万 4 千立方メートル（0.03%）減となり，有収率は前年度より 0.2 ポイント低下して 94.3%となりました。
- 経営面につきましては，経営基盤の強化を図るため，水道施設の適正な管理のためのアセットマネジメントの取り組みを推進するとともに，令和 2 年度以降 10 年間の事業運営指針となる基本計画の策定に着手しました。
- 次に，建設改良事業につきましては，配水管整備事業で，基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い，54 億 4 千 8 百万円を支出し，配水管延べ 35,863 メートルを布設しました。また，施設整備事業では，荒巻配水所更新工事や青葉山隧道改良工事を行ったほか，南中山配水所耐震補強工事，綱木坂送水ポンプ場非常用発電設備更新工事などを行い，38 億 9 百万円を支出しました。
- 財政状況につきましては，収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において，総収益 280 億 4 千 7 百万円に対し，総費用 241 億 3 百万円で，差引 39 億 4 千 4 百万円の純利益となりました。
- 以上が決算の概況でございますが，今後も計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努め，安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて，お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。

3. 事業実績

区 分	年 度	単 位	平成30年度 (E)	平成29年度 (F)	対前年度比較	
					増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)		人	1,061,715	1,059,645	2,070	100.2
給水人口 (B)		人	1,058,549	1,056,300	2,249	100.2
年間総配水量 (C)		m ³	120,298,943	120,138,044	160,899	100.1
(仙台市配水量)		m ³	(116,105,602)	(115,970,825)	(134,777)	(100.1)
(他市町分水量)		m ³	(4,193,341)	(4,167,219)	(26,122)	(100.6)
配水能力		m ³ /日	425,215	426,325	△ 1,110	99.7
一日平均配水量		m ³	329,586	329,145	441	100.1
一日最大配水量		m ³	359,172	358,848	324	100.1
使用給水栓数		栓	459,406	453,004	6,402	101.4
年間有効水量		m ³	116,217,496	116,278,963	△ 61,467	99.9
年間有収水量 (D)		m ³	113,500,467	113,534,750	△ 34,283	100.0
配水管延長		km	3,480	3,447	33	101.0
職員数 (管理者除く)		人	411	408	3	100.7
普及率 (B/A)		%	99.7	99.7	0.0	-
有収率 (D/C)		%	94.3	94.5	△ 0.2	-

4. 財政状況

水道料金収入などの収益的収入が 280 億 4,700 万円となる一方で、人件費、物件費などの収益的支出が 241 億 300 万円となり、その結果、39 億 4,400 万円の純利益（黒字）となりました。この純利益については、全額を減債積立金（借入金の返済に充てるための積立金）として積み立てました。

(1) 収益的収支

- 水道水をつくり、ご家庭にお届けするための財源と経費です。

収入 280億4,700万円

お客さまからの水道料金 231億3,700万円	その他 49億1,000万円
----------------------------	-------------------

支出 241億300万円

人件費 31億 800万円	物件費など 64億9,600万円	受水費 58億1,200万円	減価償却費 76億3,900万円	支払利息 10億 4,800万円
		県などから浄水を 購入するための費用	水道施設などの資産価値の目 減り分を毎年の費用として計 上したもの	国などから の借入金の 利息の返済

当年度純利益39億4,400万円

(2) 資本的収支

- 水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

収入 53億9,000万円

企業債 39億2,700万円	その他 14億 6,300万円	損益勘定留保資金 など 97億2,900万円
-------------------	-----------------------	---------------------------

施設の建設・改良工事のため
に国などから借りるお金

減価償却費などの現金支出を伴わない費用などを充当

支出 151億1,900万円

建設改良費 93億9,300万円	企業債償還金 57億2,600万円
---------------------	----------------------

施設の建設・改良工事のための費用

国などからの借入金の元金の返済

(3) 前年度との比較(収益的収支)

(単位：千円)

科目	区分	平成30年度	平成29年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業収益		28,047,109	28,160,467	△ 113,358	99.6
営業収益		24,945,584	24,826,438	119,146	100.5
給水収益		23,711,382	23,702,287	9,095	100.0
受託工事収益		112,013	49,213	62,800	227.6
その他営業収益		1,122,189	1,074,938	47,251	104.4
営業外収益		3,093,770	3,150,434	△ 56,664	98.2
受取利息		6,999	986	6,013	709.8
不動産賃貸料		32,301	41,810	△ 9,509	77.3
水道加入金		1,344,343	1,298,188	46,155	103.6
他会計補助金		351,098	359,076	△ 7,978	97.8
国庫補助金		874	66,552	△ 65,678	1.3
長期前受金戻入		1,321,046	1,347,593	△ 26,547	98.0
雑収益		37,109	36,229	880	102.4
特別利益		7,755	183,595	△ 175,840	4.2
固定資産売却益		1,276	12,684	△ 11,408	10.1
過年度損益修正益		6,479	170,911	△ 164,432	3.8
水道事業費用		24,103,223	25,216,799	△ 1,113,576	95.6
営業費用		22,854,046	22,960,853	△ 106,807	99.5
人件費		3,108,351	3,221,663	△ 113,312	96.5
物品費		287,684	249,166	38,518	115.5
経費		5,704,014	5,782,500	△ 78,486	98.6
受水費		5,812,214	5,816,415	△ 4,201	99.9
減価償却費		7,638,630	7,465,433	173,197	102.3
資産減耗費		303,153	425,676	△ 122,523	71.2
営業外費用		1,052,871	1,158,739	△ 105,868	90.9
支払利息		1,048,319	1,156,336	△ 108,017	90.7
雑支出		4,552	2,403	2,149	189.4
特別損失		196,306	1,097,207	△ 900,901	17.9
過年度損益修正損		40,553	1,091,616	△ 1,051,063	3.7
固定資産売却損		2,093	2,811	△ 718	74.5
減損損失		153,660	0	153,660	皆増
その他特別損失		0	2,780	△ 2,780	皆減
当年度純損益		3,943,886	2,943,668	1,000,218	134.0

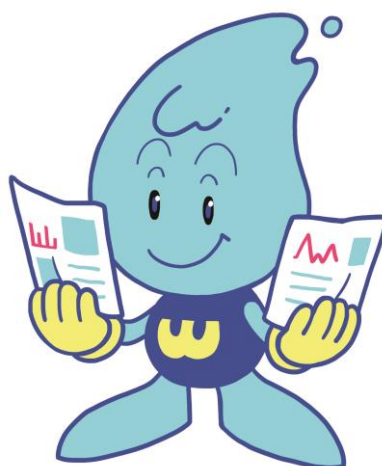
(注) 消費税及び地方消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

(単位：千円)

科目	区分	平成30年度	平成29年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業資本的収入		5,390,286	6,749,806	△1,359,520	79.9
企業債		3,927,000	5,433,000	△1,506,000	72.3
固定資産売却代金		3,154	1,529	1,625	206.3
出資金		540,958	681,544	△140,586	79.4
国庫補助金		478,831	240,405	238,426	199.2
開発負担金		340,726	249,328	91,398	136.7
負担金		93,088	132,263	△39,175	70.4
その他資本的収入		6,529	11,737	△5,208	55.6
水道事業資本的支出		30,515,858	32,197,438	△1,681,580	94.8
建設改良費		9,671,359	10,778,740	△1,107,381	89.7
配水管整備事業費		3,809,340	5,112,076	△1,302,736	74.5
施設整備事業費		136,388	115,147	21,241	118.4
受託等工事費		5,725,631	5,551,517	174,114	103.1
企業債償還金		5,725,631	5,551,517	174,114	103.1
差引		△25,125,572	△25,447,632	322,060	98.7

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。



5. 主な実施事業

- 平成 30 年度に実施した主な事業を「水道事業中期経営計画」における 2 つの『目指すべき将来像』に沿ってご紹介します。

※【 】内の金額は平成 30 年度の事業費です。

1 強くて安心な水道

(1) 災害に強い施設・システムの整備

- 管路の耐震化【約 50 億 4,300 万円】
約 27.4km の老朽管や、災害医療の拠点となる病院への配水経路 6 ヶ所を耐震性に優れた水道管へ更新しました。
- 浄・配水施設の耐震化【約 15 億 6,800 万円】
荒巻配水所の更新や、茂庭浄水場配水池の耐震補強工事等を実施しました。
- 配水ブロックの再編【約 1 億 3,100 万円】
災害時等の断水、濁水影響範囲の縮小化や早期復旧を図るため、基幹管路整備や配水ブロック再編を実施。



管路の更新工事

(2) 災害対応力の強化

- 災害時給水栓の設置【約 3,300 万円】
大規模災害時などに効果的な応急給水ができるよう、市立学校 9 校に災害時給水栓を設置しました。
(令和元年 9 月末 120 ヶ所設置済)
- 非常用自家発電設備の更新等【約 2 億 7,100 万円】
将監第一配水所の非常用自家発電設備の更新等を実施しました。



災害時給水栓

(3) 水質管理の徹底

- 水質管理の充実・強化
水道 G L P (※) に基づいた精度管理・教育研修を実施しました。
※ (一社) 日本水道協会が定めている水質検査結果の制度と信頼性を確保するため認定基準。
平成 30 年度に更新審査を受審して、再認定されました。

2 エコで持続可能な水道

(1) 環境に配慮した事業の推進

- 省エネルギー型機器への切り替え【約 1 億 700 万円】※老朽更新費用を含む
水道局本庁舎の外灯や駐車場照明を LED 式照明に改修しました。

(2) お客さま本位の事業の推進

- 水道事業に関する情報提供や体験・交流型広報の充実
・ 広報紙「仙台の水道 H20」の全戸配布や、水道モニター会議の開催などを実施したほか、水道フェアや水道探検親子ツアー等を開催しました。

(3) 経営マネジメントの推進

- アセットマネジメントの推進
水道施設の適切な維持管理や計画的な更新など、アセットマネジメント（資産管理）の取り組みを更に推進するため、工事設備台帳データベースの整備や定量的評価による更新対象路線の選定手法の検討に着手しました。

